

## 高次脳機能障害支援ツール | 6 : 緊急連絡先



目的：必要な情報を常に持ち歩き、困った時に自ら連絡できる、または他者に依頼するためのツール

### こんな症状の方におすすめ



- 緊急時の判断が難しい。
- 外出先で道に迷ってしまう。
- 連絡先を忘れてしまう。
- 電話をかけることができない。
- 困った時に、周囲にうまく伝えられない。

### 活用のメリット



- 緊急時にすぐに対応できた。
- 道に迷ったが、帰ることができた。
- 連絡先をみて電話をかけることができた。
- 近くの人に電話をして伝えてもらった。
- 困っていると気が付いてもらった。

### 支援のPoint!!

- 常に持ち歩くことで、ご本人が困ったことが起きた時に対処する材料になったり、周囲に理解してもらうためのものです。活用方法などは手順化しておきましょう。
- 必要に応じ、病院への連絡となる場合もあるため、かかりつけ医の連絡先も記載しておきましょう。
- 家族の連絡先の場合、つながりやすい番号を記載しておきましょう。
- 地誌的障害のある方には、常に持ち歩けるようにカード式にしたり、本人の同意がある場合は、携帯電話の位置情報サービスも利用されることも有用です。
- ヘルプカードも同時にご活用ください。